

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 6 部門第 3 区分

【発行日】平成22年1月28日 (2010.1.28)

【公表番号】特表2009-524174(P2009-524174A)

【公表日】平成21年6月25日 (2009.6.25)

【年通号数】公開・登録公報2009-025

【出願番号】特願2008-552338(P2008-552338)

【国際特許分類】

G 0 6 Q 10/00 (2006.01)

G 0 6 F 17/21 (2006.01)

【 F I 】

G 0 6 F 19/00 3 1 0 A

G 0 6 F 17/21 5 4 8 E

G 0 6 F 17/21 5 6 2 D

【手続補正書】

【提出日】平成21年12月3日 (2009.12.3)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

複数の条件付き書式設定規則をユーザインタフェース内の複数のデータセルに適用する方法であって、

第 1 の条件タイプと、少なくとも第 1 のパラメータと、第 1 の書式設定を含む第 1 の条件付き書式設定規則が複数の条件付き書式設定規則の中で最高の優先順位を有するということをコンピューティングデバイスが識別するステップと、

第 1 の条件付き書式設定規則に関連付けられている前記ユーザインタフェース内の第 1 のデータセルのセットをコンピューティングデバイスが決定するステップと、

第 1 のデータセルのセット内の各セルについて、

前記データセルが評価されるべきかどうかを前記コンピューティングデバイスが決定し、

前記データセルが評価されるべきであると決定された場合、前記第 1 の条件付き書式設定規則が TRUE かどうかを決定するために前記コンピューティングデバイスが前記データセルを評価し、

前記第 1 の条件付き書式決定規則が TRUE であると決定された場合、前記第 1 の書式設定が前記データセルに以前適用された書式設定と競合するかどうかを前記コンピューティングデバイスが決定し、

前記第 1 の書式設定が以前適用された書式設定と競合しないと決定された場合、前記コンピューティングデバイスが前記第 1 の書式設定を前記データセルに適用するステップと、

第 2 の条件タイプと、少なくとも第 2 のパラメータと、第 2 の書式設定を含む第 2 の条件付き書式設定規則が複数の条件付き書式設定規則の中で次に高い優先順位を持つということ前記コンピューティングデバイスが識別するステップと、

前記第 2 の条件付き書式設定規則に関連付けられている前記ユーザインタフェース内の第 2 のデータセルのセットを前記コンピューティングデバイスが決定するステップであって、前記第 2 のデータセルのセット内の少なくとも第 1 のデータセルが前記第 1 のデータ

セルのセット内にも含まれ、前記第 2 のデータセルのセット内の少なくとも前記第 2 のデータセルが前記第 1 のデータセルのセット内に含まれていない、ステップと、

前記第 2 のデータセルのセット内の各セルについて、

前記データセルが評価されるべきかどうかを前記コンピューティングデバイスが決定し、

前記データセルが評価されるべきであると決定された場合、前記第 2 の条件付き書式設定規則が TRUE かどうかを決定するために前記コンピューティングデバイスがデータセルを評価し、

前記第 2 の条件付き書式決定規則が TRUE であると決定された場合、前記第 2 の書式設定が前記データセルに以前適用された書式設定と競合するかどうかを前記コンピューティングデバイスが決定し、

前記第 2 の書式設定が以前適用された書式設定と競合しないと決定された場合、前記コンピューティングデバイスが前記第 2 の書式設定を前記データセルに適用するステップであって、前記第 1 および第 2 の条件付き書式設定規則が前記第 1 のデータセルについて TRUE であると決定された場合、さらに、前記第 1 および第 2 の書式設定が前記第 1 のデータセルに以前適用された書式設定と競合しない場合に、前記第 1 および第 2 の書式設定がともに前記第 1 のデータセルに適用される、ステップと、
を備えることを特徴とする方法。

【請求項 2】

第 1 の条件付き書式設定規則が TRUE であると評価された後、追加の条件付き書式設定規則もまた評価されることを特徴とする請求項 1 に記載の方法。

【請求項 3】

前記第 1 のデータセルのセット内の各データセルについて、前記第 1 の条件付き書式設定規則が TRUE と評価された後、条件付き書式設定規則の評価を停止するかどうかを決定するステップをさらに備えることを特徴とする請求項 1 に記載の方法。

【請求項 4】

少なくとも前記第 2 の条件付き書式設定規則を含む他の条件付き書式設定規則に関して、前記第 1 の条件付き書式設定規則の優先順位がユーザによって指定されることを特徴とする請求項 1 に記載の方法。

【請求項 5】

前記第 1 の書式設定が複数の書式を含むことを特徴とする請求項 1 に記載の方法。

【請求項 6】

前記第 1 の書式設定が前記データセルの一つに適用された場合、前記ユーザインタフェースは、そのデータセルにアイコンを表示することを特徴とする請求項 5 に記載の方法。

【請求項 7】

ユーザインタフェースに適用される複数の条件付き書式設定規則を評価する方法であって、

コンピューティングデバイスが評価のために条件付き書式設定規則を識別するステップと、

前記コンピューティングデバイスが前記条件付き書式設定規則に関連付けられている前記ユーザインタフェースに含まれるセルを識別するステップと、

前記コンピューティングデバイスが前記条件付き書式設定規則が前記セルについて TRUE と評価するかどうかを決定するステップと、

前記条件付き書式設定規則が TRUE と評価すると決定された場合、前記条件付き書式設定規則が以前前記セルに適用された以前の条件付き書式設定規則と同じグループ内にあるかどうかを決定することによって、前記条件付き書式設定規則に関連付けられている書式タイプが前記セルに以前適用された書式タイプと競合するかどうかを、前記コンピューティングデバイスが決定するステップと、

前記書式タイプが以前適用された書式タイプと競合しないことが決定された場合、前記コンピューティングデバイスが前記書式を前記セルに適用するステップと

を備えることを特徴とする方法。

【請求項 8】

前記以前の条件付き書式設定規則が前記セルについて追加の評価が完了されるべきではないという指示を含むかどうかを決定するステップをさらに備えることを特徴とする請求項 7 に記載の方法。

【請求項 9】

前記複数の条件付き書式設定規則は、シートベースで適用されることを特徴とする請求項 7 に記載の方法。

【請求項 10】

第 1 の条件付き書式設定規則は、前記シート内の第 1 のセルのセットについて評価され、第 2 の条件付き書式設定規則は、前記シート内の第 2 のセルのセットについて評価されることを特徴とする請求項 7 に記載の方法。

【請求項 11】

第 1 の条件付き書式設定規則は、前記シート内の第 1 のセルのセットについて評価され、第 2 の条件付き書式設定規則もまた、前記シート内のセルの前記第 1 のセットについて評価されることを特徴とする請求項 7 に記載の方法。

【請求項 12】

前記第 1 の条件付き書式設定規則が、第 1 のセルのセット内の第 1 のセルについて TRUE と評価された場合、第 1 の書式設定タイプは、前記第 1 のセルに適用され、前記第 2 の条件付き書式設定規則は、前記第 1 のセルのセット内の第 1 のセルについて TRUE と評価された場合、第 2 の書式設定タイプもまた、前記第 1 のセルに適用されることを特徴とする請求項 11 に記載の方法。

【請求項 13】

前記第 1 の書式設定タイプは、前記第 2 の書式設定タイプとは異なることを特徴とする請求項 12 に記載の方法。

【請求項 14】

複数の書式設定タイプは、異なる条件付き書式設定規則によって前記第 1 のセルに適用されることを特徴とする請求項 7 に記載の方法。

【請求項 15】

各条件付き書式設定規則が優先順位と関連付けられ、前記ユーザインタフェースが、前記複数の条件付き書式設定規則の前記優先順位を変更するためにユーザからの入力を受信するよう構成されていることを特徴とする請求項 7 に記載の方法。

【請求項 16】

複数の条件付き書式設定規則を適用して評価するためのコンピュータ実行可能コンポーネントを有するコンピュータ可読媒体であって、

ユーザインタフェースに関連付けられている複数の条件付き書式設定規則の優先順位付けを制御するようコンピューティングデバイスによって動作可能な条件付き書式設定規則制御コンポーネントと、

前記ユーザインタフェースの一部であるセルの第 1 の条件付き書式設定規則を評価するよう前記コンピューティングデバイスによって動作可能な条件付き書式設定規則評価コンポーネントであって、前記第 1 の条件付き書式設定規則は、条件タイプ、少なくとも一つのパラメータ、優先順位、および、前記第 1 の条件付き書式設定規則が TRUE と評価された場合、複数の条件付き書式設定規則のうち追加の条件付き書式設定規則が前記セルについて評価されるべきかどうかの指示を含む、条件付き書式設定規則評価コンポーネントと、

前記第 1 の条件付き書式設定規則の書式設定タイプが前記セルに以前適用された書式タイプと競合するかどうかを決定するよう前記コンピューティングデバイスによって動作可能な書式設定解決コンポーネントとを備えることを特徴とするコンピュータ可読媒体。

【請求項 17】

前記セルに以前適用された前記書式タイプは、前記条件付き書式設定規則評価コンポーネントがより高い優先順位の条件付き書式設定規則を評価した結果として適用されることを特徴とする請求項 16 に記載のコンピュータ可読媒体。

【請求項 18】

前記条件付き書式設定規則評価コンポーネントは、前記第 1 の条件付き書式設定規則に関連付けられているセルの範囲内の第 1 のセルを識別し、前記条件付き書式設定規則が前記セルについて評価されるべきかどうかを決定することを特徴とする請求項 16 に記載のコンピュータ可読媒体。

【請求項 19】

前記複数の条件付き書式設定規則のうち追加の条件付き書式設定規則は評価されるべきであるという指示があった場合のみ、前記追加の条件付き書式設定規則が前記セルについて評価されるべきであることを特徴とする請求項 16 に記載のコンピュータ可読媒体。

【請求項 20】

前記条件付き書式設定規則評価コンポーネントは、複数の条件付き書式設定規則のうちのいくつかを評価するよう構成されており、その数はコンピューティングデバイスの処理能力によってのみ制限されることを特徴とする請求項 16 に記載のコンピュータ可読媒体

。